

肺炎球菌ワクチン接種について

肺炎は…

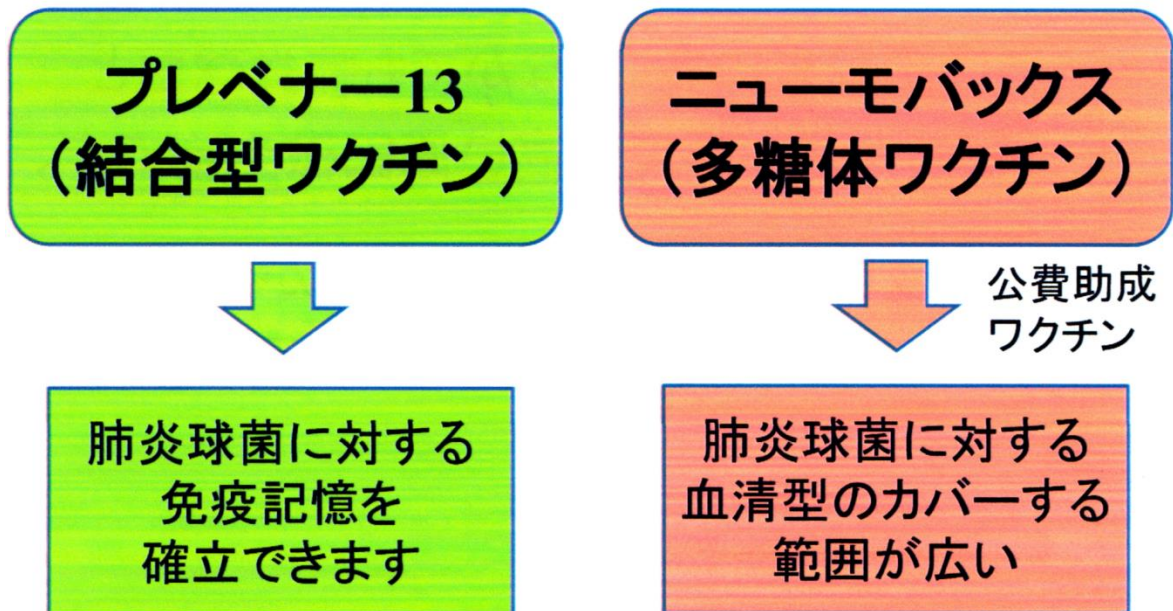
日本人の死因の第3位で高齢者に多く、肺炎球菌という細菌が原因となることが最も多いです。

肺炎球菌ワクチン接種が推奨される人は…

- ・ 65 歳以上の高齢者
- ・ 以下の病気やリスクを有する人
 - ☐ 慢性心不全 糖尿病 慢性肝臓病 慢性呼吸器疾患（喘息、慢性気管支炎、肺気腫など）
- ・ 感染しやすい人
 - ☐ 悪性腫瘍 慢性腎不全 血液疾患（白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫など）
- ・ 老人施設や療養施設などの入居者

肺炎球菌ワクチンには作用が異なる 2 種類があり、日本内科学会、日本呼吸器学会、

日本感染症学会では 2 種のワクチンの両方を接種することを推奨しています。



2種のワクチンの相違は以下の通りです。

	プレベナー13	ニューモバックス
肺炎球菌による肺炎予防効果	○	○
インフルエンザワクチンとの併用	○	○
再接種	不可	5年後
費用	9,800円	定期接種 4,400円 任意接種 6,000円
	任意接種	定期接種

副作用には相違はありません。

ニューモバックス

プレベナー13

どちらのワクチンも副作用に差はありません

注射部位の症状がほとんど

熱感

痛み

腫れ

発赤

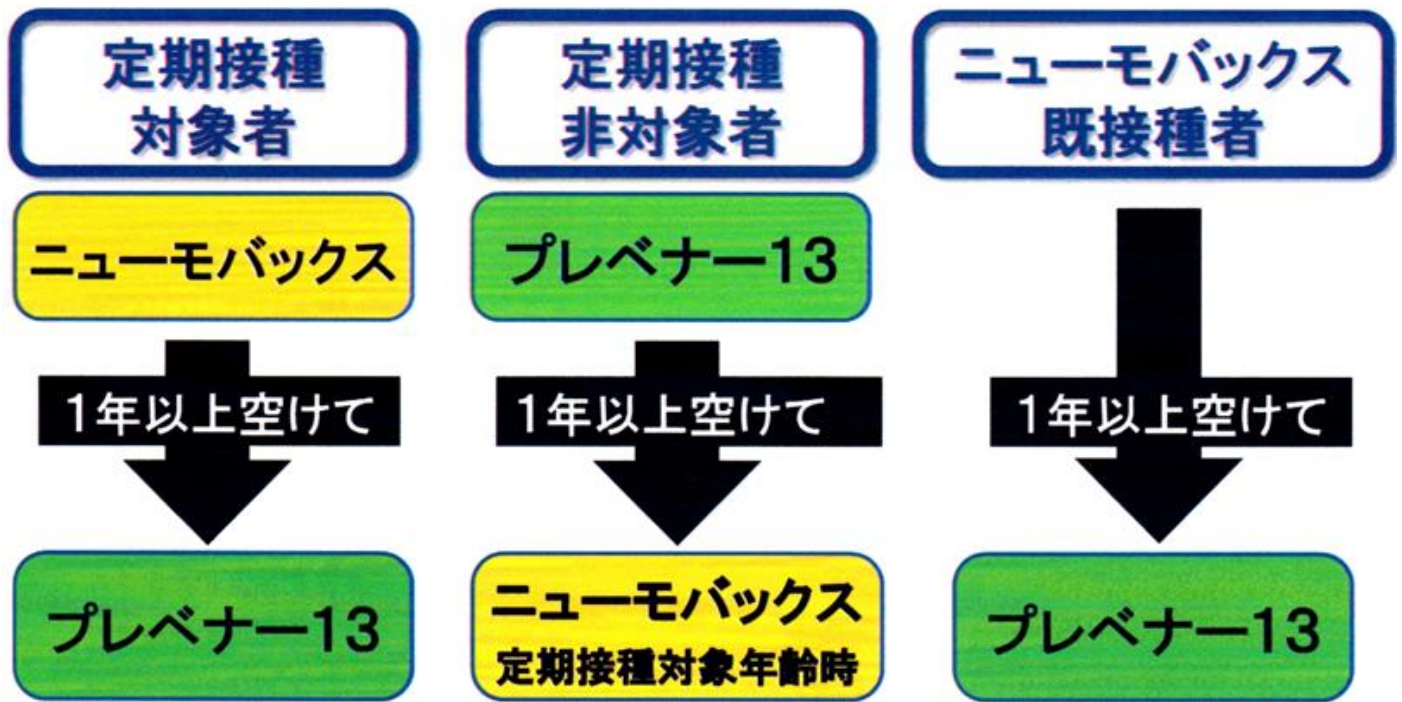
- 上記は通常2～3日で治まります。
- 熱っぽい、だるいなど体調の変化があった場合には、医師に相談してください

お勧めの接種方法は…

定期接種対象者（65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳）はまずニューモバックスを接種し1年以上空けてからプレベナーを接種します。

定期接種非対象者（上記以外の年齢）はまずプレベナーを接種し、のちにニューモバックスを接種します。

すでにニューモバックスを接種した方は、次回のニューモバックス接種の前にプレベナーを接種します。



詳しくはお気軽に当院までお尋ねください。